

|        |  |             |  |
|--------|--|-------------|--|
| 学校教育目標 | 〇しっかりと考える子(問題解決力)<br>〇心やさしい子(人間関係形成力)<br>〇つよく元気な子(体力・活力) | 【目指す学校像】    | 〇児童にとって充実した学校 〇保護者にとって信頼できる学校 〇教職員にとって働きがいのある学校              |
|        |  | 【目指す児童・生徒像】 | 〇思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども〇感性あふれる豊かな心をもつ子ども 〇すすんで心と体を鍛えることができる子ども |
|        |  | 【目指す教師像】    | 〇ありのままの児童を受け止め、個性を發揮させる教師 〇授業で勝負できる教師 〇家庭・地域との相互理解を深め協働できる教師 |

| 領域    | 中期経営目標<br>(3年間)                                    | 短期経営目標<br>(1年間)                                      | 具体的方策  | 取組指標                          | 評価 | 成果指標                            | 評価 | 自己評価結果の分析  | 学校関係者評価  | 評価   | 次年度への改善策   |   |  |
|-------|--|--|--|-------------------------------|----|---------------------------------|----|--|--|--|--|---|--|
| 確かな学力 | 〇基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。    | 〇日々定期テストや学力テストを実施し、年度始めと年度末のその結果や変化を分析する。            | 〇各学年で沼島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」の育成を図る。            | 4 全教員がアンケートを実施した。             | 4  | 4 アンケート調査で70%以上の児童が肯定的な回答をしている。 | 4  | 各教科の基礎基本の定着に向けた授業改善及び教育課程の見直しを行い、子供たちの学習環境を整えるに加え、校内研究の成果と課題を見直し、主体的に学習に取り組めるよう授業改善に努める。                     | 1学期に比べ低下している学年が見受けられるが、概ね満足できる状況になってきている。今後も授業改善を推進してほしい。                                    | 4  | 今年度の学力テストの結果を各学年分析し、成果と課題を共有する。そして学校全体の全体態を把握し、次の年度に校内研究の内容や主題につなげるとともに、主体的に学習に向かう意欲の育成を目指した授業改善につなげていきたい。     |   |  |
|       |  |  | 〇ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。                      | 4 全教員がアンケートを実施した。             | 4  | 4 80%以上の児童がタブレットを活用している。        | 3  | 3 年度途中と年度末に結果を比較できるように、2学期中にアンケートを実施し、児童の意欲を把握できるように、教員間でICT活用情報伝達研修会を開催した。                                  | ICTの活用能力がこれからの児童にとって必要になるため、今後も推進してほしい。また、低学年段階での活用方法についても明確にしてほしい。                          | 3  | 年度はじめにICTを主眼とした「子供たちに身に付けさせたい」ICT操作能力の共通理解を促す。また、年間指導計画「身に付けさせたい」を入り込み、意図的・計画的な指導を行えるようにする。                    |   |  |
|       |  |  | 〇読書活動の推進と言語能力の育成に向け、学校司書及びボランティアが連携し、子供たちの読書活動の一層の推進を図る。 | 4 各学級で図書室を月4回以上使用した。          | 2  | 4 90%以上の児童が2週に1度以上図書室を利用している。   | 3  | 3 図書主任や図書室支援員が担任と連携しながら、定期的な図書室利用の習慣化を目指し、番書利用のイベントを企画し、年間を通して読書に関する教育活動を実施していく。                             | 読書離れがあるため、今後もデジタルだけでなく紙媒体の書籍に触れる機会を継続してつづけてほしい。また、時間の確保も再考してほしい。                             | 3  | 図書主任や図書室支援員の働きかけだけでなく、国語科をとおして、年間指導計画の中に読書の利用と関連させられる單元を入れ、他教科との連携を図りながら読書のさらなる活用を目指してほしい。                     |   |  |
|       |  |  | 〇児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考え行動することができるようにする。                  | 4 全教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。 | 4  | 4 90%以上の児童が自己肯定感があると感じている。      | 3  | 3 各学年のアンケート結果から児童の実態等につき、改善策を見出し、教員同士で各学年の児童を共有する場を定期的な場にて設けている。また、子供の課題や悩みに対して個別に面談を行った。保護者と連携共有している。       | 自己肯定感を高めるために、積極的に保護者と面談を行う等、連携を密にしてほしい。  | 3  | 夏休みの個人面談の共通伝達事項として、学級満足度調査の実施結果を決定する。また、保護者と連携し、児童一人一人の課題を把握し、必要に応じて個人面談や保護者会、お祭り等の連携を通して、学校全体で、連携方法を明確にしてほしい。 |   |  |
| 豊かな心  | 〇相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。                | 〇道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、教科横断的な視点で各教科にて、計画的・発展的に取り組む。     | 〇教科横断的な視点で、年間指導計画に位置付け、計画的に指導し、道徳教育の一層の充実を図る。            | 4 すべての教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った。   | 4  | 4 95%以上の児童が振り返りを書くことが出来た。       | 3  | 3 各学年のアンケート結果から児童の実態等につき、改善策を見出し、教員同士で各学年の児童を共有する場を定期的な場にて設けている。また、子供の課題や悩みに対して個別に面談を行った。保護者と連携共有している。       | 児童が日々の生活についての考えを深め、思いやりのある人間関係を築くために、道徳教育の一層の充実を図る。また、児童の生活や学習の様子について、保護者や地域の方々と連携し、連携強化を図る。 | 4  | 道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、教科横断的な視点で各教科にて、計画的・発展的に取り組む。  |   |  |
|       |  |  | 〇いじめを許さない心構を育て、いじめの早期発見解決に努める。                           | 4 全教員が学級活動計画を活用した指導を行った。      | 4  | 4 90%以上の児童が自己肯定感があると感じている。      | 3  | 3 各学年のアンケート結果から児童の実態等につき、改善策を見出し、教員同士で各学年の児童を共有する場を定期的な場にて設けている。また、子供の課題や悩みに対して個別に面談を行った。保護者と連携共有している。       | 自己肯定感を高めるために、積極的に保護者と面談を行う等、連携を密にしてほしい。  | 3  | 夏休みの個人面談の共通伝達事項として、学級満足度調査の実施結果を決定する。また、保護者と連携し、児童一人一人の課題を把握し、必要に応じて個人面談や保護者会、お祭り等の連携を通して、学校全体で、連携方法を明確にしてほしい。 |   |  |
|       |  |  | 〇児童体力・運動能力、生活運動習慣の向上に向け、運動の習慣化を図り、体力の向上を推進する。            | 4 全教員が計画を活用した指導を行った。          | 4  | 4 調査結果が昨年比平均ポイントから+2ポイント以上      | 2  | 2 年間を通して運動委員が体力向上プロジェクトとして体力テスト種目の測定や様々な、短たな取組を企画・運営し、全校児童の体力向上の取り組みを推進することができた。次年度は体力テストの結果にも結び付けよう取り組んでいく。 | 運動と健康は生涯にわたって関わることだと考える。ダンスを取り入れるなどして、体を動かすことの楽しさを伝え続けてほしい。                                  | 3  | 年度はじめに前年度の体力テストの結果を教員間で共有理解する場と時間を設定する。そして、体育主任を中心に学校全体で進めなければならない事項の実施に尽力し、課題を共有する場を設け、改善に努める。                |   |  |
|       |  |  | 〇自分の心と体の健康に関心をもち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。                     | 4 全教員が計画を活用した指導を行った。          | 4  | 4 90%以上の児童が目標を達成している。           | 2  | 2 生活指導部と児童課を中心に、年間指導計画の確実な実施を目標とした。すまいるカードの取組を通して、結果や取組に関する内容を記載したお便りを全校に配布し、写真も必要事項を添付する。                   | 生活指導部と児童課を中心に、すまいるカードの取組を通して、結果や取組に関する内容を記載したお便りを全校に配布し、写真も必要事項を添付する。                        | 3  | 規則正しい生活については、家庭の役割が大きいので、今後はより啓発に取り組んでほしい。   |   |  |
| 健やかな体 | 〇自分の心と体の健康に関心をもち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。               | 〇毎学級実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。 | 〇毎学級実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。     | 4 全教員が計画を活用した指導を行った。          | 4  | 4 90%以上の児童が目標を達成している。           | 2  | 2 生活指導部と児童課を中心に、年間指導計画の確実な実施を目標とした。すまいるカードの取組を通して、結果や取組に関する内容を記載したお便りを全校に配布し、写真も必要事項を添付する。                   | 生活指導部と児童課を中心に、すまいるカードの取組を通して、結果や取組に関する内容を記載したお便りを全校に配布し、写真も必要事項を添付する。                        | 3  | 規則正しい生活については、家庭の役割が大きいので、今後はより啓発に取り組んでほしい。   |   |  |
|       |  |  | 〇食に関する望ましい食習慣の形成を促進する。                                   | 4 全教員が食育計画を活用した指導を行った。        | 4  | 4 80%以上の児童が食育のめあてを達成している。       | 3  | 3 2学期のお弁当の日の取組状況から、児童の食育のめあてに対する達成度が90%以上上分かつた。栄養士や食育担当を中心に、さらに充実を図っていく。                                     | 食は、生活の根本であるため、今後も継続して「食べること」の指導を充実してほしい。   | 4  | お弁当の日の取組やお弁当チャレンジカードを通して、だれがお弁当当日に関わる機会を設定する。また、食への興味関心を高めるために高学年の家庭科の学習は関係させながら食育を進めていく。                      |   |  |
|       |  |  | 〇幼児・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。                         | 4 全教員が食育計画を活用した指導を行った。        | 4  | 4 90%以上の児童が安心して進級・進学できる         | 3  | 3 キャリアアルバムでは、各学期の始めと終わりでそれぞれの行事の始めと終わりで、それぞれ振り返りを書き、子供たちの成長を記録して積み重ねながら、年々定着している。                            | 地域の方々をより活用したり、異学年交流をしたりして自分と違う立場の方との交流を通して考えを深めてほしい。   | 3  | 幼児・小中の引き続き連携を教員同士が密にしていってほしい。幼稚園保育の小中連携や6年生による中学校見学会など、子供たちから交流したいと申し出があったりする場を今後設けていく。                        |   |  |
|       |  |  | 〇子どもたちが自立できる基礎を培う。また、日本の伝統・文化の良さを理解し郷土を愛する態度を育成する。       | 4 全教員が食育計画を活用した指導を行った。        | 4  | 4 90%以上の児童が目標を達成している            | 4  | 4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。  | 4  | 4 市のアンケート結果の教育活動に関する項目の回答を計算する平均数に対して10%以上向上している。職員は共有し次年度に向けた取組を今後検討していく。 | 地域の方やスポーツ団体を積極的に活用してよかった。今後も外部の方々との交流を企画してほしい。   | 4   | 児童の実態に合わせ、ゲストティーチャーを招いた授業や地域の方々との交流できる活動を引き継ぎ進めていく。また6年生のTGのように海外の方とも交流できる機会を増やしていきたい。 |
| 輝く未来  | 〇子どもたちが自立できる基礎を培う。また、日本の伝統・文化の良さを理解し郷土を愛する態度を育成する。 | 〇文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年で設定する。            | 〇文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年で設定する。                | 4 各行事の実施を受け、毎月ホームページを更新した。    | 4  | 4 80%以上の児童が目標を達成している            | 4  | 4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。  | 4  | 4  | 4  | 今年度引き続き、学校の様子やホームページ等と発信していくだけでなく、行事や学校公開を通して、地域の方々の声や声を聞き、教育活動の改善の方向、より一層の充実を図る。 |  |
|       |  |  | 〇家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。                        | 4 各行事の実施を受け、学期に1回ホームページを更新した。 | 4  | 4 80%以上の児童が目標を達成している            | 4  | 4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。  | 4  | 4  | 4  | 4   | 今年度引き続き、学校の様子やホームページ等と発信していくだけでなく、行事や学校公開を通して、地域の方々の声や声を聞き、教育活動の改善の方向、より一層の充実を図る。      |
|       |  |  | 〇家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。                        | 4 各行事の実施を受け、学期に1回ホームページを更新した。 | 4  | 4 80%以上の児童が目標を達成している            | 4  | 4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。  | 4  | 4  | 4  | 4   | 今年度引き続き、学校の様子やホームページ等と発信していくだけでなく、行事や学校公開を通して、地域の方々の声や声を聞き、教育活動の改善の方向、より一層の充実を図る。      |
|       |  |  | 〇家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。                        | 4 各行事の実施を受け、学期に1回ホームページを更新した。 | 4  | 4 80%以上の児童が目標を達成している            | 4  | 4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。  | 4  | 4  | 4  | 4   | 今年度引き続き、学校の様子やホームページ等と発信していくだけでなく、行事や学校公開を通して、地域の方々の声や声を聞き、教育活動の改善の方向、より一層の充実を図る。      |